

教科	商業	科目	原価計算	科目コード	
単位	2	分類	系列科目（国際ビジネス系列）	受講学年	2

科目説明	製造業における原価計算および簿記に関する基本的な知識と技術を学び、原価について理解し、原価計算から得られる情報を活用する能力を身につける。 日本商工会議所主催簿記検定2級、全国商業高等学校協会主催簿記実務検定1級工業簿記の取得を目指す。		
授業の内容	1 原価と原価計算 2 原価の費目別計算 3 原価の部門別計算と製品別計算 4 製品の完成・販売と決算 5 原価情報の活用 （1）原価管理と標準原価計算 （2）利益計算と直接原価計算	選択の条件	国際ビジネス系列必修
		使用教材等	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 簿記検定問題集 電卓
備考			

●個別原価計算（上）と総合原価計算（下）の特色

2 総合原価計算の種類

総合原価計算は、製品の種類や生産形態の違いによって、次の三つに分けられる。

単純総合原価計算	同じ種類の製品を連続して製造する場合に用いられる。	同種製品の連続生産
等級別総合原価計算	同種類であるが、等級に分けられる等級製品を連続して製造する場合に用いられる。	等級製品の連続生産
組別総合原価計算	異なる種類の製品を組に分け、それぞれの組ごとに、同じ種類の製品を連続して製造する場合に用いられる。	異種製品の連続生産

総合原価計算には、工程別計算を行う場合と行わない場合がある。工程別計算を行う場合の総合原価計算は第10章で学び、ここでは、工程別計算を行わない場合の総合原価計算について学習しよう。

3 単純総合原価計算

単純総合原価計算は、下図のように、同じ種類の製品を連続して大量生産する製造業。たとえば、製粉業・採鉱業・セメント製造業などに適用される原価の計算方法である。

●単純総合原価計算（製粉業の例）

1 単純総合原価計算の手続き

単純総合原価計算は、次のように行われる。

- 1か月間に発生したすべての原価要素を集計して当月製造費用を求める。

$$\text{当月製造費用} = \text{当月材料費} + \text{当月労務費} + \text{当月経費}$$
- 月初仕掛品原価に当月製造費用を加え、総製造費用を求める。

$$\text{総製造費用} = \text{月初仕掛品原価} + \text{当月製造費用}$$
- 月末仕掛品原価を計算する。

授業で使用している教科書「原価計算」（実教出版）の内容